



発行責任者: 歯学部長 榎 宏太郎, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



年頭にあたり

歯学部長 榎 宏太郎

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、昭和大学歯学部への多大なご支援とご尽力を頂きまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。



今年は子年で、繁栄に繋がる年とされます。本歯学部も、今まで進めて来た様々な改革をさらに推進し、教育・臨床・研究の各領域で、次世代の繁栄のための年にしたいと思います。

教育においては、臨床系と基礎系の縦の繋がりをわかりやすくするために、臨床と基礎の教員が同時に講義をする統合講義を6年生で試行します。他の大学には見られない新しい講義体系を創出したいと思います。我々教員は、暗記だけに終わらせず、学生諸君の歯科に対する知的好奇心を高めなければなりません。昨年に引き続き、講義を受ける側からも活発な意見や批判をしてもらいましょう。

また、昨年来、馬場病院長をはじめとする管理会議のリーダーシップと病院教職員の強い結束によって経営改善が進んでおります。歯科病院の臨床では、患者さんの利便性をさらに取り入れた診療科の改善に臨む所存です。どのような歯科病院診療科の体制がわかり易く効率的であるか、病院内コンサルジュに寄せられた意見を踏まえ、今後の歯学部の展望を見据えて針路を決定し、さらに各臨床系講座には、早く確実に治す治療法を探求するよう求めます。そして、研究に関しては、歯科医学の新たな価値を示すような研究の推進をお願いします。厚労省の定めるところの評価療養、つまり、1) 先進医療、2) 医薬品・医療機器・再生医療等製品の治験に係る診療、3) 医薬品医療機器法承認後で保険収載前の医薬品・医療機器・再生医療等製品の使用、4) 保険適用医療機器・再生医療等製品の適応外使用などの申請にも積極的に挑戦しようではありませんか。そのため研究では、臨床における様々な問題点を解決することを基本目標と定め、そのための戦略として「イノベーション」と「産学連携」を啓発したいと考えております。夢を実現するためには、他領域の先進技術を導入し、グロ

ーバルな他大学や企業との共同研究体制の構築が必要です。今までにない社会的価値の創造には、技術や発想を組み合わせることが重要です。もちろん先進的な講座からはシーズが生まれ、それを社会に知らせることが必要です。しかし、臨床上の問題を抱え、解決する手段として他の領域の技術を必要としている分野は、そのニーズこそを広く伝えることが不可欠です。歯科における様々なニーズを社会に伝える試みもスタートしたいと思います。

全ての教職員が、やりがいを感じながらこの一年を過ごし、多くの患者さんに喜んで貰えるよう頑張らしましょう。本年も何卒宜しくご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

OSCEが実施されました

OSCE委員会委員長 菅沼 岳史

2020年度共用試験OSCEが1月12日(日)に昭和大学歯科病院において実施されました。評価・運営に関わったスタッフは、教職員163名、SP21名、機構監督者1名、外部評価者6名の合計191名で、95名の学生が受験しました。今回は天気にも恵まれ大きなトラブルもなく無事に終了し、再試験の対象者はいませんでした。今年度からテストランのチェック体制が見直され、機構指定のチェックリストを用い評価することで、2回のテストランにより運営面の問題点に確実に対応できるようになりました。また、試験当日には副学長の木内祐一先生が見学され、他学部とは異なる歯学部独特なOSCE運営についてお褒めの言葉を頂きました。終了後の反省会では、運営面に関していくつか問題点が指摘されました。系列間の音漏れの問題など解決の難しい問題もありますが、歯科病院という限られた環境の中で公平かつ効率よく実施できるように、次年度の委員会でこれらの問題点を検討したいと思います。3連休の貴重な時間を多くの教職員の方々にご協力を頂きありがとうございました。

なお、来年度の開催は1月9日(土)・10(日)です。試験課題の共用試験実施機構からの提示が実施2ヶ月前となりますが、課題によっては補助者の増員が必要な場合もあり、多くの教職員の協力が必要になりますので、今から両日のOSCEへの出席をご配慮頂ければ幸いです。



3大学学生交流が開催されました

高齢者歯科学講座 桑澤 実希

令和2年1月10日(金)に3大学学生交流授業が昭和大学歯科病院臨床講堂で開催されました。本授業は Skype を利用し、岩手医科大学と北海道医療大学の歯学部5年生と自学の特色的な実習内容を発表し、質疑応答を行うものです。「超高齢社会に対応できる歯科医師の育成」に関する実習がテーマです。

今回は、歯学部5年生の玉井 伴樹君と犬井 崇君が本校の代表となりました。ふたりは学生へのアンケートを実施し、本校の実習効果についての意見を調査して、令和元年7月に開催された第38回日本歯科医学教育学会学術大会において、当大学の特色ある実習に関する発表を行いました。交流する大学の学生達もそれぞれに発表を行い、夜には3大学の学生と教員で交流会を開き意見交換などをしました。そのおかげで、今回開催された Skype での交流は終始和やかな雰囲気の中で進行され、質疑応答も盛り上がりました。現代はネット社会ですが、やはり人は顔を合わせて話合うことが必要で、地道な準備があってこそ成功があるのだと再確認しました。今回の経験で学生の見聞が広がったことを嬉しく思います。

3大学交流は本校も他校も、歯科医師育成のために様々な工夫が凝らされていることを知ることができます。多くの先生方、また歯学部の学生のみなさんに参加していただき、ご意見やご感想をいただければ、さらに楽しくなると思います。



行事予定

広報委員長 中村 雅典

- 2月1日・2日: 第113回歯科医師国家試験
医学部一般選抜入試(I期)利用併願入試2次試験
- 2月11日: 大学入試センター試験利用入試
(B方式: 地域選抜) 2次試験
- 2月15日: 2020年度春季 II 期大学院歯学研究科
入学試験・2020年度第3回外国語試験
- 2月16日: 歯学部合格者ガイダンス
- 2月21日: 歯学部白衣授与式
- 3月8日: 一般選抜入試 II 期
- 3月16日: 第113回歯科医師国家試験合格発表
- 3月18日: 卒業式
- 3月24日: 大学院修了式
- 3月26日: 新 D4オリエンテーション
- 3月31日: 新 D2オリエンテーション

3大学学生交流が開催されました

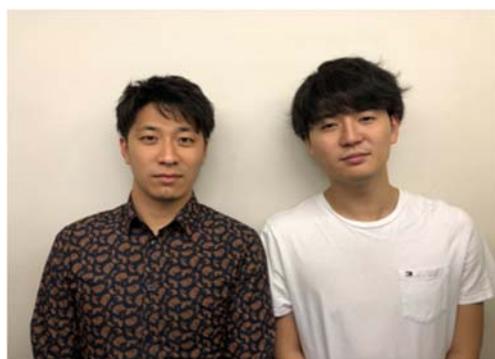
歯学部5年 玉井 伴樹・犬井 嵩人

令和2年1月10日(金)に3大学学生交流における Skype 討論会が昭和大学歯科病院臨床講堂で行われました。この討論会では、昭和大学、北海道医療大学、岩手医科大学の3大学の歯学部学生が IT を用いた共通のプログラムを受講し、その結果がそれぞれの大学の臨床実習の場でどのように活かされているのか Skype を使用し討論しました。私たちは昨年7月に福岡県で行われた第38回日本歯科医学教育学会でのポスター発表を元に「ITを用いた3大学連携準備教育を踏まえた昭和大学における学部連携教育の経験」というタイトルで、今回発表をしました。

北海道医療大学では、雪が多いという立地ならではの課題や、衛生士学校との連携 PBL、訪問診療などが、岩手医科大学での発表では、学生診療科、グループ学習制度などが報告され、印象に残りました。また、事前に歯科教育学会にて発表を聞き、それぞれの大学の学生と夜遅くまで盃を交わしたためなのか、質疑応答も弾み、学生主体となり会を進行することができ、非常に有意義な時間となりました。

この一年を通して日本歯科教育学会への参加や Skype 討論会などの貴重な経験を経たことで、各大学の立地状況に合わせて、それぞれに必要な教育プログラムや特色ある臨床実習があることを学ぶことができ、貴重な経験ができました。

最後になりましたが、この一年間サポートしていただきました先生方、またご支援いただきました昭和大学歯学部同窓会の先生方に御礼申し上げます。



玉井

犬井

昭和大学歯学部海外選択実習の現状と展望について

歯学部国際交流担当 桑田 啓貴

昭和大学歯学部では、国際的視野を持った医療人の育成を目標に国際交流活動を推進しています。特に6年の海外選択実習での活動が中心となっています。昨年は、南カリフォルニア大(米国)、台北医科大(台湾)、ウーン医科大(オーストリア)、慶熙大(韓国)に計8名を派遣しました。過去にはブリティッシュコロンビア大(カナダ)やトリサクティ大(インドネシア)、香港大(香港)などにも派遣をしています。今年は新たにホーチミン市医科大(ベトナム)とDA パンデュー大(インド)とも姉妹校提携を結びました。



海外選択実習参加の準備として、1～5年での交流活動にも参加を推奨しています。ポートランド州立大春季プログラム(1～4年)、UCLA サマープログラム(3年)、マダガスカル口唇口蓋裂医療協力(5年)などがあります。歯科病院診療科および基礎研究室の先生の多大なご協力をいただき、昨年度はキングス・カレッジ・ロンドン(英国)、UBC、香港大、ウーン医科大、トリサクティ大からの歯科学生訪問を受け入れています。これらの機会を見つけて海外学生と交流すると良いトレーニングとなるでしょう。

海外選択実習に加えて、学生による海外での研究発表があります。APDSA や SCRIP と呼ばれるイベントに参加し、英語で研究発表を行います。発表には「研究入門実習(毎年2～3年春季の各研究室配属)」に参加し、英語での研究プレゼンテーションを行う必要がありますので、英語力が要求されます。TOEFLなどの点数が満たされていない場合は参加出来ません。2～3年次から継続的に英語学習に取り組む必要があります。

その他随時、国際交流センターでイベントが準備されています。詳細は、歯学部だよりや国際交流センターのホームページをご覧ください。10日以上海外研究発表の場合、「学生海外実習補助金制度」により補助金が支給されますので、活用してください。今後の歯学部の学生のみなさんの積極的な参加を期待しています。



大学入試センター試験が実施されました

入試常任委員 関 健次

令和2年1月18日(土)、19日(日)の2日にわたって独立行政法人大学入試センターが実施する大学入学者選抜大学入試センター試験(以下、「センター試験」)が実施されました。全国の志願者数は557,698人(前年度が576,830人)で3.3%の減少でした。高校学習指導要領の変更により、センター試験としての実施は今回が最後となり、来年度からは大学入学共通テストとなります。本学では今年度も共立女子大学と共同で実施し、大きな混乱もなく無事終了しました。本学の体制としては、入学支援課を核に4学部や学事部から多くの教職員に運営や試験監督業務の協力をいただいています。共立女子大学の会場で受験をした受験生が必ずしも本学を受験するとは限りませんが、センター試験利用の受験種別をもつ実績に応じてセンター試験運営を支えるという仕組みになっています。

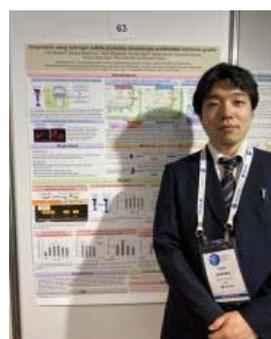
歯学部ではセンター試験利用として、センター試験利用入試 A 方式10名(英数理3科目+面接)、B 方式6名(英数理2科国社+小論文+面接、全国6ブロック制)を実施しております。

教職員の皆様におかれましては、日頃の学生教育や診療に加えて、試験当日は朝早くからご協力をいただき誠にありがとうございました。

IADRでJADR/GC 学術奨励賞を受賞しました

口腔生化学講座 大学院4年 笹間 雄志

令和元年11月28～30日 Brisbane Convention and Exhibition Centre, Brisbane, Australia にて開催されました第67回 JADR 総会・学術大会に“Respiration using hydrogen sulfide promotes chondrocyte proliferation and bone growth”という演題でポスター発表させて頂き、JADR/GC 学術奨励賞をいただきました。大変光栄であるとともに、身に余る評価を頂き恐縮しております。JADRに参加することで他大学の先生方と議論を交えることができ、大変有意義な時間を過ごせました。

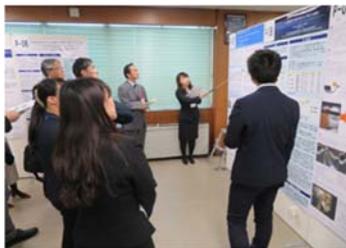


今回の経験を糧として、より一層研究・勉学に励んでいきたいと考えております。本発表にあたりご指導頂きました口腔生化学講座の上條竜太郎教授、宮本洋一准教授、吉村健太郎講師、口腔外科学講座の代田達夫教授をはじめ諸先生方に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昭和大学学士会が開催されました

昭和大学学士会学術担当 弘中 祥司

令和元年11月30日に昭和大学旗の台キャンパスにて第66回昭和大学学士会総会が開催されました。総務部・学術部・雑誌部・会計部からの事業計画のほか、収支報告や予算案等が報告されました。本会は、令和になって初めての会であり、久光新学長になってからも初めての学士会で、これからも盛会となるよう各学部で協力するという事をおっしゃっていました。



各学部からの学位発表者や各病院での取組み、また最先端の基礎研究など、5階と6階の会議室を使用して活発な討議が行われました。さらに教育講演では、「医療貢献を指向した臨床分析化学」の演題で薬学部基礎薬学講座生体分析化学部門 加藤 大 教授、「相対的ヒューマニズムへの展望～ヘルダーリンから宮崎駿へ～」の演題で富士吉田教育部 田中 周一 教授、「成人期の発達障害」の演題で医学部精神医学講座 岩波 明 教授の3演題の講演がありました。いずれも本学を代表する研究者で、これからも活躍されることと思います。

令和2年昭和大学准講師会に参加しました

歯科保存学講座総合診療歯科 伊佐津 克彦

令和2年1月18日(土)に昭和大学准講師会の幹事会・講演会・新年会が赤坂のアーキヒルズクラブで開催されました。幹事会では各学部、病院での活動報告を行いました。講演会では、本学薬学部出身でもある衆議院議員とかしきなおみ先生より環境を考え健康をかたちにとすることで、①病を発症させない予防医療、②健康産業を育成する、③経済性を持って誰もが街づくりに参加できる仕組みを造り、生きがい創出につなげるという考えを基にした「健都」について講演をして頂き、参加者は大いに元気を頂きました。懇親会は歯学部からは、13名が参加し他学部の先生との交流を深め、チーム医療の基礎となる楽しい交流の時間を持つことができました。



歯学部入学試験 選抜 I 期が実施されました

入学支援課 鳥山 ちひろ

令和2年度歯学部一般選抜入試 I 期・大学入試センター試験利用入試 A 方式が、1月23日(木)に東京、大阪、福岡の3試験場にて薬学部、保健医療学部と同日に実施されました。

今年度の志願者数は、一般選抜入試 I 期(44名募集)が373名、大学入試センター試験利用入試 A 方式(10名募集)が一般選抜入試 I 期との併願を含む187名、大学入試センター試験利用入試 B 方式[地域別選抜](各地域1名、計6名募集)が18名、医学部一般選抜入試 I 期利用の歯学部併願入試(3名募集)が61名と、全国津々浦々から出願がありました。試験当日はあいにく雨でしたが、各試験場とも特に大きなトラブルもなく、各学部教職員の方々のご協力により無事終了することができ、翌週の1月27日(月)に一般選抜入試 I 期、1月29日(水)に医学部一般選抜入試 I 期利用の歯学部併願入試の一次の合格者を発表いたしました。

また、2月5日(水)に大学入試センター試験利用入試 B 方式一次、2月6日(木)に大学入試センター試験利用入試 A 方式の合格者を発表いたします。

さらに、2月1日(土)・2日(日)には医学部一般選抜入試 I 期利用の歯学部併願入試の二次試験、2月11日(火・祝)には大学入試センター試験利用入試 B 方式[地域別選抜]二次試験が旗の台キャンパスにて実施されます。

昨今、歯学部の志願者獲得が厳しい中、日々の入試広報活動および入学試験の運営・実施にご協力を賜りました教職員の皆さまには、心から厚く御礼を申し上げます。引き続き、3月8日(日)に一般選抜入試 II 期が行われますので、今後とも何卒宜しく願い申し上げます。



編集後記

口腔解剖学講座 野中 直子

令和になり初めてのお正月、いかがお過ごしでしたでしょうか。昭和大学90周年記念行事も無事に終了し、100周年に向かい走りをはじめました。

今年はオリンピックイヤー、昭和大学の皆様が一丸となり、頑張ってお送りしていきましょう。

入学試験等でお忙しい中、原稿執筆をしていただいた皆様に感謝いたします。

